

米沢市教育振興基本計画検討委員会（第6回）会議録

日時 令和2年11月20日（金）

開会 午後2時30分

閉会 午後3時02分

場所 置賜総合文化センター
教育委員室

1 出席委員

委員長	大木 晃	委員	金子 明夫	委員	聖山 宗徳
委員	亀岡 淑子	委員	木島 龍朗	委員	小野 弘子
委員	色摩 安紘	委員	中田 秀樹		

2 欠席委員 菅原 延昭 宇山 栄一 遠藤 正紀 須藤 輝美

3 出席職員

教育管理部長	渡部 洋己	教育指導部長	今崎 浩規
教育総務課長	小田 浩昭	社会教育課長	梅沢 和男
スポーツ課長	佐藤 幸助	文化課長	佐藤 恵一
学校教育課長	山口 まゆみ	教育総務課長補佐	米原 裕美
教育総務課総務主査	佐藤 真英	教育総務課主査	伊藤 和香子

4 協議

(1) 教育振興基本計画の全体案について

(2) その他

委員長 協議に入らせていただきます。(1) 教育振興基本計画の全体案について事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 皆様にお諮りさせていただきたい。本日の会議を最終と考えているため、この後ご意見等をいただき修正が必要な場合には、委員長に一任し進めさせていただきたいと考えている。このことについて、ご了承いただけるかどうか協議をお願いしたい。

委員長 事務局の提案についていかがか。

———異議なし———

委員長 今後の修正等については、私と事務局で調整を図らせていただく。よろしくお願ひする。

教育総務課長 (1) 教育振興基本計画の全体案について説明させていただきます。

——資料により説明——

委員長 ご質問、ご意見ないか。

委員 16ページの「安全教育の充実」のところで、前回までの案では自然災害等に対する避難訓練の実施について触れていたが、今回はそれがSNSのことに変わっている。第6次山形県教育振興計画にも「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進するとあるので、SNSだけに限らず、いのちを大切にすることを入れたほうが良いと思う。

事務局 前回の会議後、避難訓練等の取組はどこでも実施しており、「安全教育の充実」として取り上げる事項かどうか事務局で検討した。一方でSNSのトラブルから子ども達を守るという取組が抜けていたので、今回このような記載に変更したものだが、改めて整理させていただきたい。

委員 8ページ(6)の5行目「3月に策定した東南置賜地区の県立高校再編整備計画には」の後にその下の「課題として」が入り、文章がつながっていくのではないかと思う。41ページに子どもの文化芸術活動支援と入れていただいたが学校としての文化芸術活動の支援ということをもう少し明確に示していただきたい。

事務局 8ページの文章については確認させていただきたい。

文化課長 上杉博物館教育普及事業や総合文化クラブモデル事業は学校への出前授業等、いろいろ支援をいただいているので具体的に事業名を挙げたところだが、ここに小中学校という言葉を入れさせていただいて、わかりやすい表現に修正させていただきたい。

委員 最終的に計画書の仕上がりはカラーになるのか。

事務局 これから検討するが、ある程度の部数はカラーで、できるところはつくり上げたいと考えている。全てできるかはわからない。

委員 21ページから23ページはカラーにすると印象が変わると思う。

事務局 すでにその部分はカラーでつくり込みをしている。最終的にはホームページにアップするのでカラーで見ることができると考えている。

委員 この会議が回を重ね、様々なことについて、いろいろな視点で私なりに意見を述べさせていただいた。米沢市がこれから目指していく教育振興基本計画の方向性が定まってきたと思っている。

委員長 他によろしいでしょうか。本日いただいたご意見については事務局と調整させていただきます。次第の(2)その他ですが、委員の皆様から何かございますか。事務局からございますか。なければ以上を持って協議を終了させていただきます。ありがとうございました。

教育総務課長補佐 ありがとうございました。では、委員の皆様からお一言ずつ会議の感

想や今後の教育への思いなどを頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員 この計画の基本方針は上杉鷹山公の「なせばなる」の精神と細井平洲先生の「勇なるかな」そして「学思行、相須って良となす」という考えを土台に据えており、米沢らしさが表現されていると思う。そして、今後私たちが向かうべき道筋を明確に示している。この計画の内容を確実に学校教育の実践につなげていきたい。

委員 少子高齢化の中で幼稚園、保育園、認定こども園では、教育の質が落ちないように小学校の学習指導要領を読みながら、「それに向かって私たちは何ができるだろうか」というスタンスで取り組んでいる。さらに「教育の米沢品質」ということを題材にして、全ての子ども達に教育を保障したいと改めて感じた。

委員 たくさんのことを勉強させていただいた。今後さらに社会構造や世の中の変化する速度が速くなっていくと思う。この計画の5年間の中でも対応していくことができないことが出てくるのではないかと。そうすると、その時代、時代に合わせた柔軟な対応がますます要求されていくとつくづく感じている。

委員 米沢市民ではないからこそその視点と大学生、大学という立場で意見を述べさせていただいた。教育を網羅的に考える経験をさせてもらい勉強になった。ぜひこの計画を実践できるように願う。5年後に事業の達成率や成果を問われた時に、「良い計画だったね」と言えるように私もお手伝いしたい。

委員 良い勉強になり、皆さんに感謝したい。学校の中でも活用できることがあるので実践していきたい。素晴らしい計画（案）ができたので、ぜひPDCAサイクルを行っていただきたい。計画をしっかりと実行して、チェックを行い、次のステップに進んでいけるような良いものにしていただきたい。

委員 教育振興基本計画（案）には大変素晴らしいものがあると感じている。市内17地区の各コミュニティセンターを中心とした活動として、さらに多く、深くスポーツ活動を取り入れていただきたい。特に高齢者のスポーツ活動を活発に行うことは、まちの活性化につながるものと期待している。

委員 子どもの時に豊かな文化体験をすることは心の成長のため大切だ。目に見えないものほど大切なものだと思っている。家庭と学校で協力して文化活動に取り組んでいただきたい。子どもが大人になって指導者となり、その指導によりまた子どもが育っていく循環の仕組みができると素晴らしい。全国に通用するような米沢の文化が育つことを願っている。

委員長 皆様のご協力に感謝する。今年は新型コロナウイルスの影響で様々な制限がある中で学校はいろいろな人に支えられて一緒に子どもを育てているのだと改めて思った。子どもの健やかな成長を願って学校でも地域やコミュニティセンターでも、幼稚園、保育園、こども園も、そして何より保護者の皆様も同じ方

向を向いて頑張ることが大事だと思った。いろいろな人との関わりの中で育った子どもは、人のために貢献する大人に育っていくのではないかという勉強をさせていただいた。変化の速い世の中になっていると感じているが、人と人の関わりや「がってしない子ども」を育てるという気持ちは絶対に変わらないと思っている。

教育長

昨年12月から6回に渡り、ご検討いただいたことにお礼を申し上げます。皆様に取りまとめていただいた、この教育振興基本計画により来年度から令和7年度まで本市教育行政の取組を進めていく。行政の仕事は、仕事を進める上での予算措置が必要なことから、毎年事業の進捗状況を確認し、評価しながら次年度へ着実に進めていきたいと思っている。また、新型コロナウイルスの感染状況は非常に憂慮する事態であり、学校やコミュニティセンターには感染状況をしっかりと見極めてアクセルとブレーキを上手く使い分けて、ねらいに沿った学習や活動ができるように知恵を出していただきたいとお願いしている。これからの長期的な大きな課題として、持続可能な米沢の担い手をいかに育てていくかということがある。米沢の教育で育った子ども達には、ぜひ米沢で活躍してほしいと思うが、一方では米沢に思いを持ちながら他県や世界でも活躍してほしいという思いもある。そのためにはどこにいても米沢にこだわりを持ち、米沢が大好きだと言えるような子どもを育てていきたいと思っている。さらにSDGsの考え方を取り入れて、気候変動等いろいろなことを大きく世界規模で見ながらも、自分の足元から具体的に行動を起こすことができる子どもにも育てていきたいと思っている。これから学校或いはコミュニティセンターをはじめ、いろいろな方とご相談しながら米沢を良いまちにつくり上げていくため、この基本計画を基に進めていきたいと思っているので、どうぞこれからもご指導の程よろしくお願ひしたい。感謝を申し上げて挨拶とさせていただきます。

———閉会———